

泉大津市人事行政の運営等の状況の公表（令和2年度分）

市の職員数や給与などを公表します



詳しくはこちら

市では、毎年12月に前年度における職員数や給与など、職員に関する情報を公表しています。

詳しくは、市役所4階の情報公開コーナーで閲覧できるほか、市のホームページでも閲覧できます。

問合せ 人事課

職員の任免に関する事項

部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数
		令和3年	令和2年	
普通会計部門	議会	6	6	0
	総務企画	88	85	3
	税務	25	25	0
	民生	151	131	20
	衛生	17	16	1
	労働	1	1	0
	農林水産	1	1	0
	商工	4	4	0
	土木	30	33	▲3
	計	323	302	21
公共企業等会計部門	教育	65	59	6
	消防	86	84	2
	小計	474	445	29
	病院	296	307	▲11
	水道	15	14	1
その他	下水道	8	8	0
	その他	25	25	0
	小計	344	354	▲10
	合計	818 [1,074]	799 [1,074]	19 [0]

▷職員数は一般職に属する職員数で、会計年度任用職員を除いています。

▷普通会計部門における主な増減理由…待機児童解消に向けた体制の充実による増など

[]内は条例定数の合計です。

令和2年度に実施した職員採用競争試験の状況

区分	受験者数	合格者数
上級事務職	167人	10人
上級建築職	2人	1人
上級土木職	4人	0人
消防吏員(初級)	59人	2人
看護師	3人	3人
保育士	42人	18人

※なお、合格者数については、実際の採用者数と異なる場合があります。

職員の給与の状況

(1)人件費の状況

普通会計決算

区分	住民基本台帳人口(R3.1.1)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
2年度	7万4,351人	382億8,348万円	3億4,845万円	43億6,307万円	11.4%

※人件費には児童手当を含みません

(2)職員給与費の状況

普通会計決算

区分	職員数(A)	給与費				一人当たり給与費(B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
2年度	474人	15億1,782万円	3億7,052万円	6億3,470万円	25億2,303万円	532.3万円

※職員数は、令和3年4月1日現在の人数です

(3)職員の平均年齢および平均給料月額

一般行政職(令和3年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額
泉大津市	42.0歳	31万2,347円

(4)職員の初任給(令和3年4月1日現在)

区分	泉大津市初任給
一般行政職	大学卒 18万8,700円
	高校卒 16万100円

(5)職員の手当

期末手当・勤勉手当(令和2年度)

泉大津市			国		
1人当たり平均支給額	135万9千円		-		
支給割合	期末手当	勤勉手当	支給割合	期末手当	勤勉手当
	2.55月分	1.90月分		2.55月分	1.90月分
加算措置	職制上の段階、職務の級などによる加算措置		加算措置	職制上の段階、職務の級などによる加算措置	

1人当たり平均支給額は、全職種に係る職員(企業職、市立病院の医師などを含みます)に支給された平均額です。

(6)特別職の報酬など

(令和3年4月1日現在)

区分	給料月額など
給料	市長 71万2,000円(89万円)
	副市長 63万2,000円(79万円)
	教育長 63万円(70万円)
報酬	議長 61万円
	副議長 58万円
	議員 55万円
期末手当	市長 副市長 教育長 (令和2年度支給割合) 4.4月分
	議長 副議長 議員 (令和2年度支給割合) 4.4月分

※給料の()内は、減額措置を行う前の金額です

令和2年度 泉大津市決算特集

令和2年度決算の概要

令和2年度の一般会計における最終予算現額は417億1,369万円で、この予算に対する決算額は、歳入が393億8,291万円、歳出が388億9,103万円で、差し引き4億9,188万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源1億4,342万円を差し引いた実質収支の額は3億4,845万円となり、17年連続の黒字決算となりました。

問合 財政課

財政用語については、
こちらをご覧ください→



会計名	決算額		形式収支額 (A) (歳入－歳出)	繰越しすべき財源 (B)	実質収支額 (A)－(B)
	歳入	歳出			
一般会計	393億8,291万円	388億9,103万円	4億9,188万円	1億4,342万円	3億4,845万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

一般会計 歳入の概要

①市税 116億796万円 (前年度比0.6%減)

個人市民税で5,808万円の増、固定資産税で6,230万円の増、法人市民税で1億8,787万円の減など

②税外収入 30億1,650万円 (前年度比21.9%増)

前年度純剰余金で1億1,108万円の増、ふるさと応援寄附金で1億2,937万円の増など

③国庫支出金 145億1,559万円 (前年度比175%増)

特別定額給付金給付事業費補助金で74億6,611万円の増、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で9億956万円の増など

④地方交付税 38億3,046万円 (前年度比1.5%減)

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもの

⑤府支出金 20億9,574万円 (前年度比10.8%増)

低所得者保険料軽減負担金で2億1,213万円の増、安心子ども基金特別対策事業費補助金で4,767万円の増など

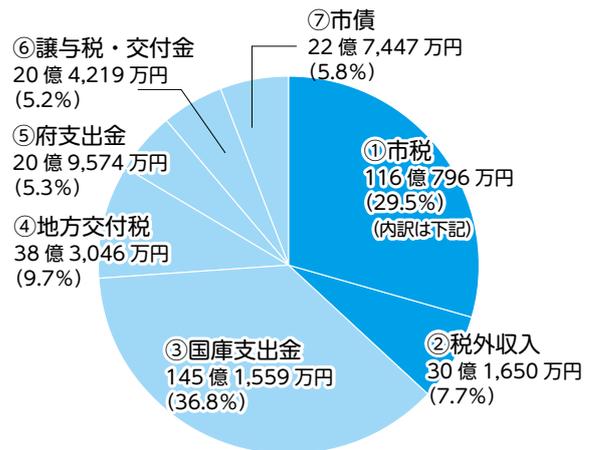
⑥譲与税・交付金 20億4,219万円 (前年度比12.4%増)

地方消費税交付金は2億9,500万円増の15億4,577万円で、そのうち社会保障財源交付金にあたる8億5,843万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用

⑦市債(借入金) 22億7,447万円 (前年度比77.6%増)

公園整備事業債で4億3,340万円の増、小学校整備事業債で2億9,490万円の増など

歳入 | 393億8,291万円



「①市税」の内訳

個人市民税	38億8,371万円
法人市民税	7億4,979万円
固定資産税	52億9,151万円
軽自動車税	1億2,418万円
市たばこ税	5億7,269万円
都市計画税	9億8,608万円

「②税外収入」の内容

諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■ 自主財源 … 地方自治体の権限で収入できる財源

■ 依存財源 … 国や府の意思決定に基づき交付される財源

市民一人あたりの市税負担額

(令和2年度末時点での住民登録人口により算出)

15万6,663円

歳出 | 388億9,103万円

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では令和2年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

一般会計 歳出の概要

性質別

■義務的経費

・扶助費 85億8,763万円 (前年度比0.4%増)

障がい者総合支援給付事業で1億5,919万円の増、ひとり親世帯臨時特別給付金事業で1億776万円の増など

・人件費 43億6,845万円 (前年度比7.2%増)

制度改正により、臨時職員が会計年度任用職員となったことに伴い賃金から人件費に移行などにより増

・公債費 31億2,178万円 (前年度比23.9%増)

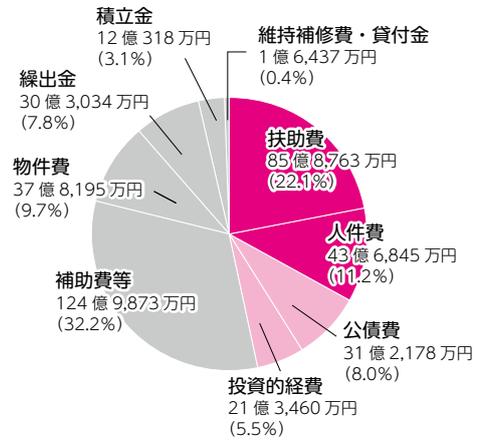
市債の返済に要する経費

■投資的経費 21億3,460万円 (前年度比71.4%増)

公園施設整備事業で6億4,418万円の増、小学校施設整備事業で3億4,342万円の増など

■その他の経費 206億7,857万円 (前年度比81%増)

特別定額給付金給付事業で74億3,128万円の増など



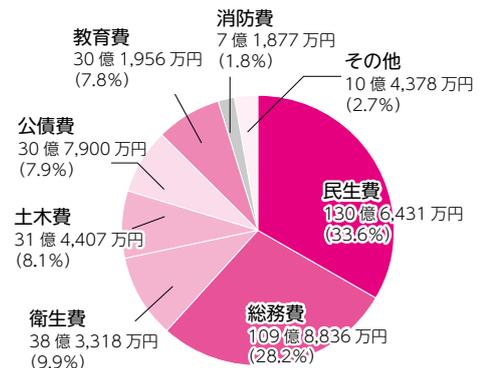
- 義務的経費…支出が義務づけられており、任意に削減することができない経費
- 投資的経費…学校や道路などの建設・整備に関する経費
- その他の経費

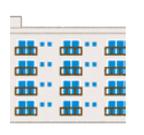
目的別

市民一人あたりの歳出総額

(令和2年度末時点での住民登録人口により算出)

52万4,881円



民生費 (高齢者や 児童の福祉に)	総務費 (窓口業務、 税金徴収に)	衛生費 (ごみ処理や 病気予防に)	土木費 (道路、河川、 公園整備に)	公債費 (借入金の返済に)	教育費 (学校、公民館、 学習活動に)	消防費 (消防活動、 防災活動に)	その他 (議会、商工、 農林水産に)
							
17万6,318円	14万8,301円	5万1,733円	4万2,433円	4万1,555円	4万753円	9,701円	1万4,087円

特別会計の決算状況 (端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります)

会計名	決算額		形式収支額 (歳入-歳出) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源 (B)	実質収支額 (A - B)
	歳入	歳出			
土地取得事業特別会計	6億9,035万円	6億9,035万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	82億1,876万円	81億3,028万円	8,848万円	0万円	8,848万円
介護保険事業特別会計	56億7,823万円	54億4,930万円	2億2,893万円	0万円	2億2,893万円
後期高齢者医療特別会計	10億985万円	9億8,195万円	2,789万円	0万円	2,789万円
合計	155億9,719万円	152億5,188万円	3億4,530万円	0万円	3億4,530万円

令和2年度決算における健全化判断比率と 資金不足比率（暫定値）を公表します

■健全化判断比率：4指標 ※黒字である場合は「-」の表示となります。

指標名	概要	泉大津市		早期健全化基準	財政再生基準
		2年度	元年度		
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	—	—	12.66%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	—	—	17.66%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入金返済の負担を3か年の平均で示した割合	8.7%	10.4%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	29.3%	47.9%	350.0%以上	

■資金不足比率 ※不足額がない場合は「-」の表示となります。

指標名	事業名	概要	泉大津市		経営健全化基準
			2年度	元年度	
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合。この割合が高い場合、経営状況が悪いことを指します。	—	—	20.0%
	病院事業会計		3.6%	16.4%	
	下水道事業会計		—	—	

借入金と財産の状況 (令和3年6月末時点)

■市の借入金（市債・企業債）現在高

会計名	現在高
一般会計	259億7,526万円
土地取得事業特別会計	15億8,470万円
下水道事業会計	207億9,357万円
水道事業会計	30億8,533万円
病院事業会計	32億1,548万円
合計	546億5,434万円

市民一人当たり置き換えると…
(令和3年6月末時点での住民登録人口により算出)

借入金（市債・企業債）	74万円
財産	11万円

■市の財産現在高

区分	現在高	
有価証券	2,350万円	
基金	泉大津市財政調整基金	33億6,549万円
	泉大津市都市施設整備基金	1億8,794万円
	泉大津市福祉基金	2,247万円
	交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
	深喜人材育成基金	1億3,110万円
	泉大津市公園墓地基金	4,606万円
	泉大津市介護給付費準備基金	3億8,635万円
	辻川穂太郎やすらぎ基金	8,266万円
	泉大津市がんばろう基金	4,902万円
	佐野幸子基金	1,390万円
	泉大津市地域環境基金	1億1,414万円
	八木稔すこやか基金	5,948万円
	泉大津市環境整備資金貸付基金	6,199万円
	泉大津市営住宅整備基金	3億5,976万円
	テクスピア大阪産業振興整備基金	5億1,511万円
	泉大津市セーフコミュニティ基金	5,967万円
	泉大津市ふるさと応援基金	12億4,715万円
	泉大津市下水道基金	1億7,064万円
	泉大津市公共施設整備基金	4億9,108万円
	泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	1億6,110万円
	泉大津市駐車場整備基金	1,972万円
	泉大津市森林環境譲与税基金	895万円
	小計	78億1,115万円
	合計	78億3,465万円

令和2年度に実施した主な事業

新図書館「シーブラ」を整備

多機能・多目的に使える新しい図書館を目指し、令和3年度にまたがって工事を行い令和3年9月に開館。「毎日のようにいろいろな企画・イベントが行われる！」など、図書館のイメージや固定観念の刷新を目的とした「シーブラが誕生!!」の冊子の製作・配布をはじめ、シーブラPRについて、さまざまな取り組みを進めました。



経済対策としてレシート大作戦を実施

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ消費を喚起し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図るため、泉大津商工会議所が実施した、市内の店舗で発行した3万円分のレシートを集めると、地元店舗で使用できる4千円の商品券がもらえる「泉大津レシート大作戦」を支援し、11億円を超える経済効果がありました。



「バーチャル市役所総合案内」および「オンライン申請」を導入

スマートフォンなどを使って、必要な手続きを簡単に調べることができるバーチャル市役所総合案内を本格導入しました。また、オンライン申請システムも導入し、令和3年度から水道開始・中止手続きや、飼い犬の登録なども市役所に行かなくても手続きができるようになりました。



←バーチャル市役所総合案内

小・中学校に1人1台タブレットを導入

小・中学校に1人1台のタブレット端末や高速大容量通信環境を整備し、ICT（情報通信技術）を活用して個別最適な学びを実践できる環境を整えました。

水道・下水道事業決算



←水道事業の収支内訳はこちら



←下水道事業の収支内訳はこちら

水道事業決算

収益的収支については、収入は17億321万円、支出は14億1,360万円となり、差し引き2億8,961万円の黒字となり、前年度からの剰余金2億5,282万円と合せて5億4,243万円の剰余金発生となりました。

なお、未処分利益剰余金のうち2億7,121万円は、建設改良積立金へ積み立てています。 **問合** 水道課

収益的収支（税抜）

収入

収入合計	17億 321万円
------	-----------

支出

支出合計	14億 1,360万円
------	-------------

差引

純利益	2億 8,961万円
-----	------------

資本的収支（税込）

収入

収入合計	2億 205万円
------	----------

支出

支出合計	4億 9,814万円
------	------------

差引

不足額	▲2億 9,609万円
-----	-------------

下水道事業決算

収益的収支については、収入は25億1,012万円、支出は24億2,930万円となり、差し引き8,082万円の黒字となりました。

問合 下水道課

収益的収支（税抜）

収入

収入合計	25億 1,012万円
------	-------------

支出

支出合計	24億 2,930万円
------	-------------

差引

純利益	8,082万円
-----	---------

資本的収支（税込）

収入

収入合計	18億 171万円
------	-----------

支出

支出合計	26億 4,165万円
------	-------------

差引

不足額	▲8億 3,994万円
-----	-------------

市立病院事業決算



←病院事業の
収支内訳はこちら

問合せ 市立病院総務課

業務状況

令和2年度の入院患者数は延べ4万1,880人(1日平均114.7人)で、前年度と比較し1万1,932人(1日平均32.3人)の減少となり、病床利用率は49.9%(前年度63.9%)となりました。

外来患者数は延べ13万236人(1日平均536人)で、前年度と比較し2万4,575人(1日平均103.7人)の減少となりました。

決算状況

収益的収支については、収入は65億3,629万円で、前年度に比べ、10億8,387万円(19.9%)の増収となりました。

費用は59億9,221万円で、前年度に比べ、3,702万円(0.6%)の増加となり、収益的収支としては5億4,408万円の純利益となりました。

また、資本的収支については、一般会計繰入金などの収入4億8,577万円、企業債償還金などの支出7億5,956万円となり、2億7,379万円の不足となりました。

収益的収支(※1)

収入	
収入計	65億3,629万円
支出	
支出計	59億9,221万円
差引	
純利益	5億4,408万円

資本的収支(※2)

収入	
収入計	4億8,577万円
支出	
支出計	7億5,956万円
差引	
不足額	▲2億7,379万円

※1 主に医療行為による収入と病院の維持管理経費を中心とした収支(税抜)

※2 医療機器の更新や病院施設の建設改良経費を中心とした収支(税込)

市立病院新改革プランの状況について

	医療機能にかかるもの		経営指標にかかるもの	
	入院患者数 (人/日)	外来患者数 (人/日)	経常収支 比率(%)	医業収支 比率(%)
A)2年度 目標値	190.0	650.0	100.0	95.1
B)2年度 実績値	114.7	536.0	93.4	73.2
B-A	▲75.3	▲114.0	▲6.6	▲21.9

	経常収支の状況		
	C) 経常収益 (百万円)	D) 経常費用 (百万円)	C-D 経常損益 (百万円)
A)2年度 計画額	5,828	5,828	0
B)2年度 実績額	5,578	5,972	▲394
B-A	▲250	144	▲394

上記のとおり、診療報酬の改定により入院日数の短縮を促されるなど制度がより厳しくなる中で、周辺の急性期病院との競合による病床稼働率の低下、さらに新型コロナウイルス感染症の流行が経営に悪影響をおよぼし、収束や収束後の回復が見通せない状況です。

平成27年度に解消した財政健全化法上の資金不足が平成29年度から再び生じ、計画最終年度である令和2年度に収支均衡を目標とする同プランの達成は、一般会計からの多額の支援を受けてもできませんでした。

地方公営企業である市立病院は料金収入によって賄う独立採算制を原則としていることから、市全体の行財政運営の観点からも早急に収支均衡を図る必要があり、持続可能な医療体制の構築を目指し、引き続き「地域医療連携体制強化構想(案)」の実現を軸とした経営の立て直しを図っていきます。

仲よし学級 (学童保育)

通年・長期休業期間限定 利用申し込みのお知らせ



保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に通う子どもたちをお預かりし、遊びを通して健全な育成を図ります。

問合せ スポーツ青少年課

申請書配付・受付場所

12月6日(月)からスポーツ青少年課、各仲よし学級、市内の保育所、幼稚園、認定こども園で配布
※市のホームページからもダウンロード可



受付期間

令和4年1月4日(火)～31日(月) (ただし、保育所・幼稚園・認定こども園は1月の最初の登園日から受付開始)
※受付期間を過ぎた場合は、スポーツ青少年課に提出

●仲よし学級について

開設日時・場所

- ▷月～金曜日…下校後～午後6時
- ▷土曜日・長期休業期間…午前8時～午後6時
- ▷各小学校内の教室などで開設

延長保育 月～金曜日、長期休業期間 午後6時～7時(土曜日を除く)

対象児童 小学1～6年生 (就労などで保護者が昼間家庭にいない児童)



仲よし学級の様子。放課後の時間を利用してさまざまな学年の子どもが一緒にすごします。

連載

市民活動の輪

vol.42 SOCKS KAI (ソックス カイ)

泉大津市を拠点に犬猫の保護活動をしています。関西圏はもちろん、地方の保健所から殺処分前の子たちを引き出す活動もしています。

当会にはボランティアさんも数人いますが、それでも人手が足りていません。ご興味のある人はぜひ犬猫ちゃんを幸せへと繋げる活動を一緒にしてみませんか? 預りボランティア・シェルターでのお世話ボランティアを主に募集しています。同じ思いを持つ仲間とも交流できますし、何より卒業した子たちの幸せな姿を見られる喜びは素晴ら

泉大津でがんばる市民団体を紹介します。

しいものです。ずっと家族を待っている保護犬猫がたくさんいますので里親応募もお待ちしております。譲渡後のサポートもさせていただきますのでペット初心者さんも大歓迎です。



泉大津市有功者が表彰されました

市では、自治・社会教育分野において貢献された2人を「市有功者」として、11月3日に開催した有功者表彰式で表彰しました。

問合せ 秘書広報課

【自治関係功労者】



三宅 延喜氏
市防犯委員会
会長

【社会教育関係功労者】



渡邊 一氏
市スポーツ推進委員協議会
会長